

## イザヤ書 第40章 1節

「『慰めよ。慰めよ。わたしの民を』とあなたがたの神は仰せられる。」

自分勝手に生きる民。それゆえ他国の腕力により支配され、引きずり回され、惨めな生活をする者たちへのみことばである。彼らの身勝手さ故に起こった悲劇を、自業自得のこととして見限らず、語り続ける。

身から出た錆で苦難にある。取り返しがつかない過ち、そしてどうしようもなく深い悲しみが民を覆うとき、聞こえるみことばがある。因果応報と切り捨てる世の理屈には当てはまらない、理解できないみことばが届く。

さんざん我が物顔で振る舞い、深刻な状況に陥った民に語る。「慰めよ。慰めよ。わたしの民を」民への責めでなく、懲らしめでもなく、また裁きでもない。慰めである。それも、一度ばかりか二度繰り返す。そして言う、「わたしの民。」悲惨の中でみことばを聞いた民は幾重にも慰められたであろう。こんなにも変わり果てた者を「わたしの民」と呼ばれる方の声を聞く時に。

呼ぶ方がどなたか知って身が震えたであろう。「あなたがたの神は仰せられる。」わたしの民と言われた方は、私たちの神である。その方からのみことばを聞いた。